

仲間

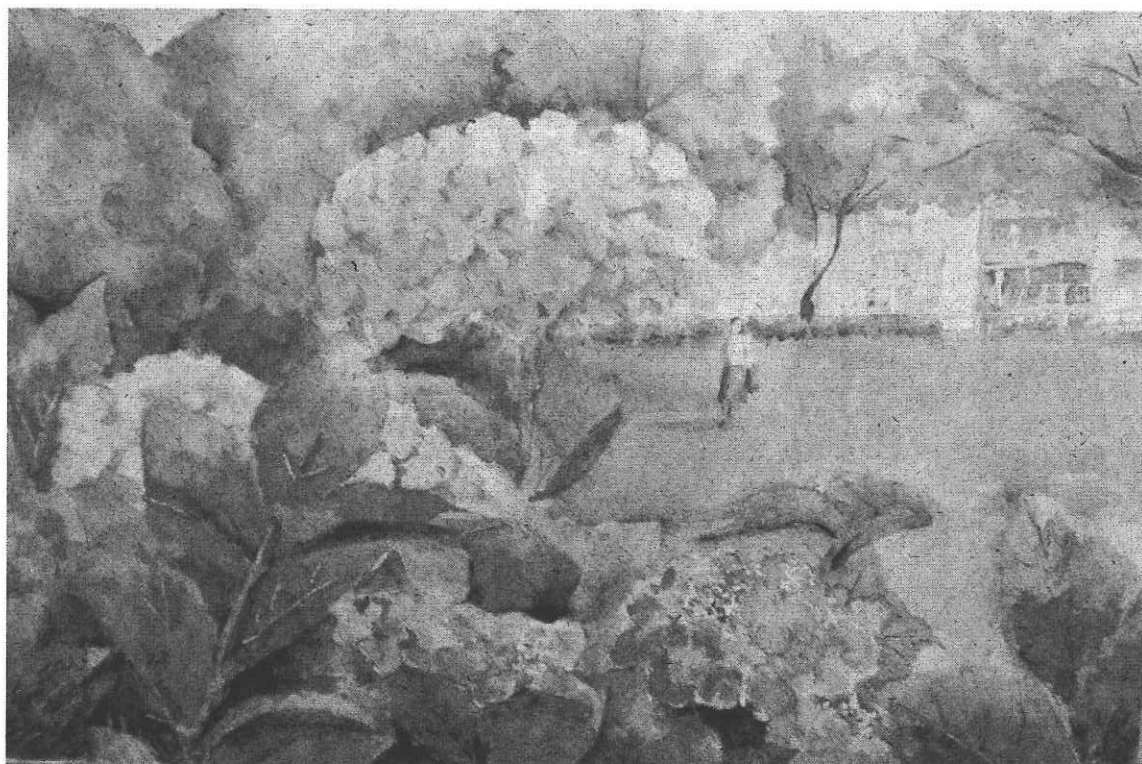
nakama

主な内容

- みんなで取り組む課題、お詫び……………2
- おしらせ……………3
- 国民平和大行進、ほか……………4～5
- 京都事業団総会と50周年祝う会… 6～7
- 宇治事業団総会、まちがいさがし……………8
- 日常のこと、今月のお月様……………9
- 京都の催事案内、風物詩……………10
- 行楽・八坂神社界限……………11
- 編集後記、まちがいさがしこたえ……………12

発行所

全日本建設交運一般労働組合 (建交労)
京都 事業団・高齢者部会
〒601-8103 京都市南区上鳥羽仏現寺町43番地
Tel 075-691-1007 Fax 671-1641
Eメール kenkourou@titan.ocn.ne.jp
発行日 毎月15日 一部30円
No.328 (2023年) 7月号



近くの公園で

上林常哲

みんなで取り組む課題

第8回支部執行委員会は6月14日に、12人の出席で行い、以下のとおり報告・討議しました。

1. 職場のこと、仲間のこと

○ソーシャル京都事業所・ヘルパー等の募集を行っているが、応募がない。ご紹介いただければ。
○ワークセンター…病気などでメンバーが減。困難な状況が続く。

2. この間の取り組みの振り返り

- ① 建交労京都府本部拡大執行委員会（5月28日）。春闘中間まとめと夏季闘争方針を決定。
- ② 南地区労再建大会（5月12日）。6年ぶりの大会開催。当支部からは委任状提出。新執行部を選出。
- ③ 京都高齢期運動連絡。総会前の参加団体会議開催、5月30日。

3. 各分会の活動

- ① ソーシャルサービス協会京都事業所分会…6月9日分会集会を開催。夏季一時金の要求書の提出へ。

- ② 宇治分会では、5月29日の定例労使協議会で、77歳までの定年延長を認める回答が示された。

4. 今後の取り組み課題との対応、ほか

- ① 京都高齢者福祉事業団「創立50周年記念のつどい」6月17日。招待状が届く。松永委員長が出席。
- ② 原水爆禁止国民平和実行委員会。6月21日(水)午後、ラクト山科公園、6月23日(金)午前、宇治市役所。
● 京都市内網の目行進は7月1日(土)。南区は吉祥院病院14時～近鉄東寺駅15時。
- ③ 京都高齢期運動連絡会第30回定期総会。6月26日。
- ④ 建交労本部・全国事業団高齢者部会…第4回全国代表者会議。7月20日(木)東京にて。翌日に厚労省本省交渉（雇用・介護問題）。
- ⑤ 府本部女性部総会。9月17日(日)10時～12時。

○次回執行委員会は、7月19日(水)午後2時より。

お詫び

先月号『仲間』3ページに掲載の「京都母親大会」のお知らせで、日時と講演内容が昨年そのままとなっております。正しくは6月25日(日)午前10時30分開会でした。お詫びして訂正させていただきます。

お知らせ**建交労京都府本部 女性部第24回総会****日時：9月17日(日曜日) 午前10時から昼まで****会場：京都高齢者会館4階ホール**

参加を希望される方は、木村さん（ワークセンター）、藤原さん（京都事業団）、京都支部書記局までご連絡ください。
参加の組合員には京都支部規定に基づき行動費を支給します。

平和のために戦争の惨禍を語りつく

第43回 平和のための京都の**戦争展**

期間：8月1日(火日曜日)～8月6日(日曜日) 入場無料
午前9時30分より午後4時30分まで（最終日は午後4時）

会場：長浜バイオ大学 京都キャンパス
（上京区河原町通広小路上ル・市バス「府立医大病院前」下車）

事前の特別企画**講演会 「ウクライナ戦争と台湾有事」**

孫崎 亨さん（外交評論家・元外務省国際情報局長）

日時：7月22日(土曜日)午後2時～4時30分 入場無料

会場：キャンパスプラザ京都（京都市大学のまち交流センター）
（下京区西洞院通塩小路下ル・京都駅より西へ徒歩5分）

原水爆禁止 国民平和大行進

京都支部執行委員長 松永 雅明さん



山科・ラクト公園での引き継ぎ集会

2023年原水爆禁止国民平和大行進・東京広島コースは予定通り、6月21日に滋賀県から京都入り、150名の参加で山科・ラクト公園で引き継ぎ集会が開かれました。

集会では、ロシアのウクライナ侵略、核兵器使用の威嚇、NATOによるウクライナへ

の兵器供与。また5月に開かれたG7広島サミットでは、核兵器廃絶は究極目標に、核兵器は戦争抑止力と宣言。こうした情勢のもとでの、2023年原水爆禁止世界大会の成功は、きわめて重要な意味を持ちます。集会後、地下鉄で蹴上駅まで移動、

平和行進 宇治〜城陽

宇治分会 嘉村 茂さん

岸田政権が大軍拡・大増税に突き進み、いまだに唯一の被爆国でありながら核兵器禁止条約に批准せず、戦争の出来る国にした、この国です。

そんな中、6月23日、2023年原水爆禁止国民平和大行進に、分会の丸尾氏と参加してきました。

宇治市役所前「平和の鐘」での集会后、被爆二世で東京から広島への通し行進者の村上厚子さんを先頭に、シユプレヒコルを繰り返しながら歩き、大久保から久世・城陽の人達も加わり、約100人で城陽市役所まで行進しました。

13時45分を出発、生協労連の隊列も合流して200名で三条通を西進。「核兵器は廃絶しよう！日本は核兵器禁止条約に署名・批准を！」と市民にアピールして京都市役所まで行進、市役所でまとめの集会が行われました。

市役所では奥田市長のメッセージも読まれ、大変盛り上がった行進になりました。

家に帰って歩数計を見たら、1万7129歩。普段あまり歩くことのない私にとっては、最高のプレゼントでした。



宇治市役所前にて

国民平和大行進 南区・網の目行進



▲吉祥院病院前▼

7月1日午後、小雨が降る中、京都市内網の目行進が行われました。京都市南区では、吉祥院病院に集合、近鉄東寺駅まで九条通を行進しました。支部からは、山内書記長が参加されました。



京都高齢期運動連絡会が定期総会ひらく

京都高齢期運動連絡会（略称・京都高運連）は、6月26日午後、長浜バイオ大京都学舎で第30回定期総会を開催しました。

総会に先立って、永戸京都市職労委員長の京都市政の現状を学ぶ講演会が行われました。

総会は、松永建交労京都支部委員長を議長に選出して行われ、活動総括と運動方針、予算と役員を満場一致で採択しました。

なお、今年の京都高齢者大会は10月14日(土)に、日本高齢者大会は東京で11月12日(日)に開催です。



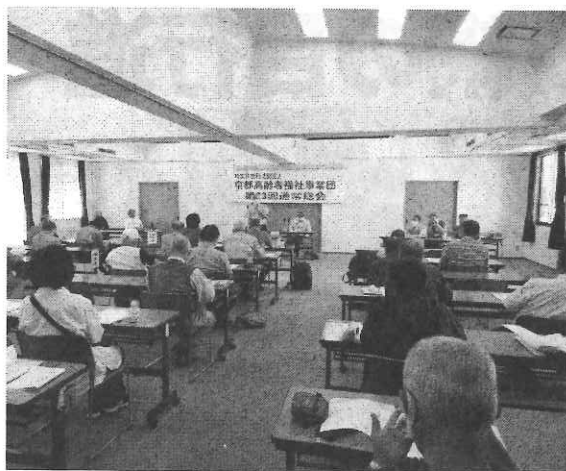
▲山本代表委員の開会挨拶



京都高齢者福祉事業団が総会を開催

総会は2022年度事業報告、決算、監査報告、2023年度事業計画、活動予算書、役員体制が提案され、それぞれ採択されました。

事業報告は、①仕事確保と収支改善、②生活困窮者就労支援、③仕事を担う団員確保・育成、④職場環境づくりと労働条件の改善、⑤事務局体制の確立について報告。



高齢者会館4階ホールでの総会のようす

決算報告は、事業収益は大きな増額になりましたが、事業原価と管理費がそれぞれ増え、事業利益はわずかに留まりました。要因は、最低賃金の連続引き上げによる労務費増、

資材高騰による収支悪化です。

2023年事業計画は、社会情勢と高齢者事業団の課題が話されました。岸田政権のもとで、大軍拡政策とそのため財源づくりがすすめられています。コロナ禍と物価高騰のもとで暮らしの危機も進行しています。大軍拡とその財源づくりは、暮らし関連予算の大幅削減と社会保障の改悪に直結します。暮らしが大変になる中、働いて生活を支えたい高齢者の要求にこたえて働く場を提供する事業団の役割、建交労の前身である全日自労の「なくせ失業と貧乏、戦争反対」のスローガンと取り組みが、改めて大切と報告されました。



齊藤理事長の事業報告

事業計画は、①仕事確保と収支改善、②生活困窮者支援、③団員確保・

育成、④労働条件・就労環境改善、⑤事務局体制の確立、⑥安心して働き・生活できる社会をめざす共同のとりくみ、について提案されました。

休憩後の議案への質問・意見は、2人の発言がありました。労働安全委員会の取り組み、安全確認の強化が大切。通勤費補助の拡大と健康診断はありがたい。など。理事者側から、事前説明会で出された意見、要望もあわせて検討し、労働環境の改善に取り組みと回答されました。

その後、議案の採択と2023年度役員選出の選挙が行われて、通常総会は閉会しました。(松永雅明)

京都高齢者福祉事業団 創立50周年を祝う会開く



齊藤理事長の開会あいさつ

6月17日の京都高齢者福祉事業団の年次総会後、「50周年祝う会」が、事業団の理事、事務局員、団員、OB、来賓の方を含め、総勢70余名の参加で開催されました。

(京都支部執行委員長・松永雅明)

祝う会第一部は、主催者を代表して齊藤理事長の挨拶と、浜岡政好佛教大名誉教授の記念講演。

齊藤理事長からは、

事業団の設立と活動の50年を振り返って、活動の改善と団員・事務局が協力して丁寧な仕事に努め、仕事確保と高齢者の働く場を確保してきたこと、50周年記念誌に寄せられた団員、OBの一言「働く場があつて感謝」にあるように、事業団の役割は大きいと挨拶されました。

浜岡名誉教授の記念講演は、①事業団の50年は、高齢者の仕事を確保することで高齢者の暮らしを守ってきた。②事業団の役割は、政権の「全世代型社会保障」政策のもとで増加する高齢者、失業者、不安定就業者に自主的な就労事業を通して、雇用の最低限を確保すること。③高齢期の適切な働き方と安心して暮らせる社会、働く高齢者を支える役割はこれからも続く。浜岡氏自身の50年に渡る高齢者事業団、全日自労と

の付き合いの歴史を交えての講演でした。

祝う会第二

部は、来賓者の紹介と挨拶。京都高運・藤原事務局長、建交労京都府本部・早田書

記長、共産党府議団・森議員より、お祝いと連帯・激励のスピーチがありました。

ビールやソフトドリンク、オードブルが準備され、事業団の一層の発展を祈念して、乾杯！そしてテーブルごとに歓談。しばらく飲食・歓談後、法律事務所の前野士さん、ワークセンター上山所長、ソーシヤル・中井さん、宇治事業団加藤代表理事、事業団の団員さん、OBの方から、それぞれお祝いのスピーチが続きました。閉会の挨拶は、木ノ下専務理事が行いました。



浜岡・佛大名誉教授の記念講演

宇治高齢者事業団が社員総会を開催

6月10日一般社団法人宇治高齢者事業団の第21回社員総会が開催されました。

2022年度事業報告、決算報告、監査報告、就業規則の改定と、2023年度役員体制が提案され、それぞれ議決されました。

総会は、まず駐輪場の管理業務について、高齢者の就労確保政策の下ですすめられてきた指定管理業務を、宇治市が「令和5年度から5年間の業務を公募制とする」との方針が22年5月に公表されました。事業団は、公募検討委員会を労使で立ち上げ、事業計画、改善計画を作成して仕事確保に全力を挙げてきました。結果、高い評価を得て2023年4月、指定管理契約を受注することができました。

次に事業団経営と財政問題です。事業団は赤字体質の状況を解消する

ため、役員報酬や団独自措置の見直しなど、団員の協力の下で黒字決算となっていました。しかしここ数年の最賃アップ、緑化土木グループの売上減少、物価上昇による材料費高騰で、大幅な減収となっています。

そして労働力確保と仕事の質の維持についてです。団員の高齢化と病気などで退職者が増えています。一方でハローワークからの紹介などで就労者も増加していますが、十分ではありません。就業規則の改定と合わせて、仕事の質を維持するため、研修をすすめていこうと討議されました。

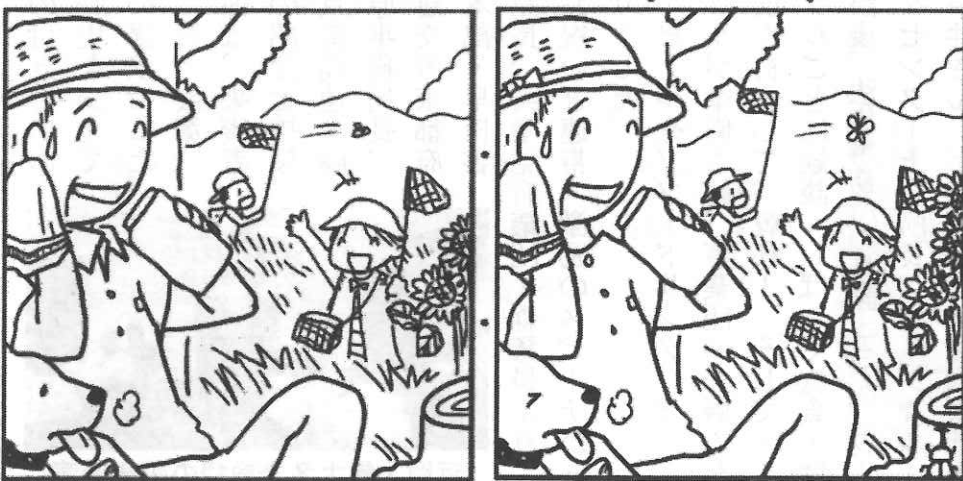
厳しい情勢が続きますが、引き続き高齢者の働く場所の提供と、丁寧な仕事で「やっぱり事業団」と市民に喜ばれる事業団をめざして奮闘しよう！と確認して総会を終えました。

(京都支部委員長 松永雅明)

7月のまちがいがし

2つの絵で違いが8カ所あります。

(答えは12ページ)





お墓参り

ソーシャルサービス協会京都事業所 松下 恵さん

もう、何年行っていないかも分からないくらい久しぶし振りに、母の実家の墓参りに出掛けました。

兵庫県山奥村出身の母。

実家の集落は過疎化が進み、商店街は農協が経営するスーパー1店舗。それから橋の前にコンビニができていました。

川の水がきれいなので、素麺の製造、お米のブランド化、鮎釣りを兼ねたキャンプ場があちこちにできており、道路は整備され、高速道路から集落までの車の交通量が増えています。

実家には母の兄嫁が住んでいます。が、今はもう行き来はありません。お墓は苔にまみれて、色褪せた造花が飾られているだけでした。十分ではないけれども、掃除をし

て生花を飾り、なんとかお墓らしくなったので、お饅頭をお供えして手を合わせました。

私が思うに、私と私のおじいちゃんには似ていたなと思います。好きな物はケーキと饅頭とエビフライにお酒。山奥に住んでいたので、街に出てきた時に、ケーキやお饅頭を買うことが、おじいちゃんの楽しみ。

京都に来た時には、京都タワーの下で食べる頭の付いたエビフライが、おじいちゃんが一番の御馳走でした。今、おじいちゃんが元気だったら、お酒と一緒に、そば饅頭、どら焼き、ケーキ。いっぱいお土産もって行くのにな。

1本の花を供えると、100倍になって向こうの世界届くそうです。

お饅頭を1つ供えると、100倍になって向こうの世界に届くそうです。

もうすぐお盆です。

お墓参りに行く前に、ちよこつと思いついて頂けたらと思います。



スタージョンムーン

北米では、チョウザメの漁が行われることから。

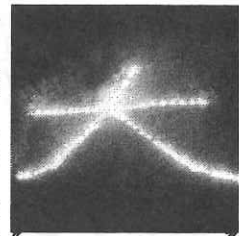
満月 8月2日・3時31分

水瓶座のキーワード|| 社会的、友好的、コミュニケーションの場を有効に。

満月(2回目) 8月31日・10時35分
うお座のキーワード|| 人を幸せにすること、自分も幸せに。

新月 8月16日・18時37分

しし座のキーワード|| 他人軸を取り除いて、自分に軸を置いてみましょう。



京都の催事案内

有料行事を含む、イベント予定を拾ってみました。主催者の都合や天候等で、中止の場合があります。

- 7月23日(日) 本宮祭／伏見稻荷大社
- 7月24日(月) 祇園祭・後祭山鉾巡行
- 7月30日(日) きゅうり封じ／五智山蓮華寺 (御室)
- 7月31日(月) 千日詣／愛宕神社
- 8月5日(土) 万灯会／醍醐寺
- 8月6日(日) 洛南マルシェ／イオン洛南 (南区吉祥院)
- 8月7日(月) 親子限定・比べてみよう／京都鉄道博物館
- 8月7日(月) 精霊迎え・六道まいり／六道珍皇寺
- 8月8日(火) 陶器まつり／若宮八幡宮 (東山区五条坂)
- 8月11日(金) 下鴨納涼古本まつり／下鴨神社糺の森
- 8月15日(月) 花脊松上げ／左京区花脊八桝町
- 8月16日(火) 大文字五山送り火
- 8月18日(金) 灯籠流し／嵐山中ノ島公園、広沢池
- 8月19日(土) 市民狂言会／京都観世会館
- 8月19日(土) カモシネマ／鴨川・賀茂大橋下河川敷
- 8月24日(木) 久多花笠踊／左京区久多
- 8月26日(土) 千灯供養／あだし野念仏寺
- 8月27日(日) 上賀茂手づくり市／上賀茂神社
- 8月29日(火) キーウ・バレエ白鳥の湖／ロームシアター

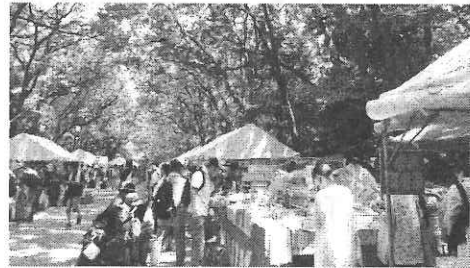
私家版風物詩 Ⅱ 下鴨古本まつりⅡ

お盆の恒例イベント「第36回下鴨納涼古本まつり」は、今年8月11(金)から16日(水)まで、朝10時から午後5時半(最終日は午後4時)まで開催されます。

会場は下鴨神社「糺の森」で、社殿南側の二の鳥居から御蔭通の手前まで、参道の両側にテントが立ち並ぶ。

350m程はあつて結構長い。私は、市バス「下鴨神社前」で降りて、北側から会場に入って見て回り、南端でビールを買って一息ついて「新葵橋」からバスに乗るか、出町柳まで歩いて電車で帰る、というのが行程です。

屋外なので、夕立が来ると店も客も大変。本が濡れるので急いでシートを掛け、未舗装の道には水たまり。



絶版の人文科学系の学術図書が多いが、一般流通しなかった私家本や社史、官庁の記録集、映画ポスター、版画、和綴じの謡曲本や戦前の学校教科書も手に取れる。

出店も多いし飽きないが、座れるところが少ないので、立ちっぱなし。会場が広いだけに、足腰が疲れる。気になった古書があると、悩みながら店の前を行き来して、いま入手せんと、もう出て来んやろうなどと考え、結局買ってしまう。(山川)

行楽

大谷祖廟で墓参りを兼ねて

八坂神社界隈を散策

建交労京都支部OB 中村 崇さん

梅雨の雨の合間をぬい、墓参りを兼ねて歩きました。

市バスを「東山安井」で下車して路地に入り、突き当たりを右に行けば「ねねの道」、左に向けると山鉾を模した建物が、大雲院の「祇園閣」です。織田信長・信忠親子の菩提を弔うために1587年に四条寺町あたりで創建。大火や「禁門の変」などでも再建されたが、高島屋京都店を増床するため、現在の地に移築したとのこと。道に沿って上ると円山野外音楽堂の裏手です。さらに、坂を上ると東本願寺の大谷祖廟の墓地事務所に出ます。

この墓地は1区から26区まで、何千もの墓が山の中腹高くまで伸びています。26区ともなると大分高くにあり、高齢になるとお参りをするのに大変と思うのですが、私の家の墓は7区にあり、助かります。墓参りに時期はな

いので、両親や先祖の皆さんに手を合わせてお参りして来ました。

墓地から降りると大谷祖廟の本堂で、お彼岸や仏事の日は、境内は納骨や墓参でこった返します。

総門を出て右に入ると円山公園で、すぐ目にするのが高さ6歳の



▲大谷祖廟の墓地群



▲大谷祖廟本堂

「坂本竜馬と中岡慎太郎」の銅像です。1936年に建立、第2次世界大戦の「金属供出」で取り壊され、1962年に高知県人会が再建。公園の中は枝垂桜を中心とした桜の園で、その中に懐かしい「ラジオ塔」があります。

その先が、八坂神社です。神社の南楼門の前に大きな石の鳥居があります。大きさは日本の中でトップクラスに入るそうです。ここが八坂神社の正門で、石の鳥居と南楼門を入ると正面に舞台があり、その奥に本殿があります。賑やかな四条通に面してある西楼門を正門と思われがちですが誤りです。

参道から西楼門に向けて歩くと小さな杜があります。歴史的に由緒あるものと聞いています。この場所では、コロナの前までは露店が所狭しと並んでいました。西楼門に立って見る四条通は見晴らしがよいのですが、河原町を越えたあたりからビルが立ち並び、街並みが見えなくなっただけは残念です。

祇園祭の最中で、色々の神事が行われているようですが、観光客も多くみられ、賑やかな情景を見ながら帰路につきました。



▲八坂神社の石鳥居

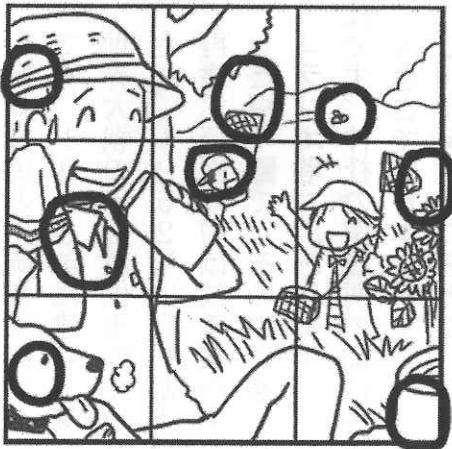
編 後 集 記

夏を前に、平和行進や各事業団總會などに執行部で分担して参加いただき、記事と写真を寄せてもらいました。お陰様で多くの原稿が集まり、12ページ建としました。暑い中、お疲れさまでした。

コロナ明けの入院日記

私事で恐縮ですが、右眼が「黄斑円孔」なる眼病に罹って、手術を受ける羽目になり、第二赤十字病院へ。約10年ぶりの入院生活でした。▼コロナ対策緩和で入院前の感染検査とかは無くなりましたが、病院内はマスク着用。6人部屋の病室がカーテンを仕切り直して定員4人となり、面会禁止も継続され、大変静か。▼眼の手術は、見えている状態で執刀されるので、ごつつう気持ち悪い。瞬きせんように顔を粘着シートで固定され、麻酔の注射針が近付くの

も見えるし、これが結構痛い。最初は足先をバタバタ。白内障手術も併せて行われ、都合30分ほどではなかったか。▼その後「上を見ないように寝る時も俯せで」の指示があるので、これがしんどい。肩が凝るわ、腰は痛いわ。▼給食が薄味なのは好みですが、もつと出汁を効かせたら美味しいのに。果物以外、加熱調理されたものばかりでした。▼手術後1週間で退院。まず風呂に入り、回転寿司屋で持ち帰りの握り寿司のパックを買い、伏見「招徳」にごり酒で解斎。少々飲みすぎた。(や)



まちがいさがしのこたえ